

オープンスペースについてのご意見まとめ（小学校）

1 現地視察時の質疑応答から

（１）オープンスペースのメリット

- ①〇年生の担任は、新採2人とベテラン 2 人だから、すぐに学年でという雰囲気がある。〇年生の朝の姿で、別クラスでも、わーっと一緒に朝の会をやって、終わるとクラスに別れて。それを毎日やっている。
- ②学年としてまとまりがいい。すぐに先生同士で協力できる。
- ③管理職にとってはとてもいい。いつでもすぐに見える。
- ④何か問題などがあっても、困ったときにはすぐ隣の教員が助けに行ける。
- ⑤管理職目線では、オープンすごく助かる。いろいろな問題が発生したときに、見つけやすい、感じやすいし、解決までも時間がかからないと思う。
- ⑥廊下までのスペースは、クラスが広がって使えるので、かなり有効に使える。
- ⑦個別指導にはオープン使っていないけれど、給食の配膳には毎日使っている。
- ⑧引き戸型のタイプが一番良いと思う。ガラス戸で。廊下は人が通ると気が散ってしまう。
- ⑨オープンは、開けて見せることができる。教室広くしても壁で囲ってしまっても意味がない。
- ⑩学習形態を考えると便利。
- ⑪教室前のスペースで学年集会、校外指導はできる。
- ⑫10から15分くらいの指導であれば、移動しないでオープンでできる。1時間まるまるなら多目的室やランチルームで行っている。

2、アンケート調査から

問 4-5

新たな学習指導要領の内容（例：主体的・対話的で深い学び）や将来の教育活動、児童・生徒の学校生活を考えた場合に、普通教室の数、広さ、配置、その他施設機能などについて、新たに必要となるものがあると思いますか。

- ①各学年に少人数で集まれる相談スペース（係や委員会作業ができるような）があるとよい。（図書館とは別に学年で活用できる図書も配置する。）普通教室は現在より広く。オープンスペースをパーティションで区切るタイプもよい。
- ②オープンスペース（2～3教室分ぐらい）
- ③オープンスペースがある学校に勤務経験があります。スペースの有効利用を考えると、図師小のような校舎は活用範囲が広がると思います。
- ④オープンスペースで学習できる教室がほしい。
- ⑤オープンスペースのように、児童の話し合い活動等が円滑に行えるスペースがほしい。
- ⑥オープンスペースや多目的スペースの設置。
- ⑦オープンスペース的な場所。子供が寝転がったり、輪になったりして自由に話ができる環境があるとよい。

- ⑧机・椅子の改善～移動をしやすくする車がついたものなどにして、学習時さまざまなグループ編成が短時間でできるようにする。フリースペースが必要～国の規定とおりの広さでは、学習スペースがたりない。学校図書館を普通教室に近いところに設置～すぐに書籍でも、インターネットでも検索できるようにする。
- ⑨教室では、学びによって、ディスカッションや協働作業する人数に応じて、机をいろいろな形に配置したり、個々の机を離したり、自由に動かすことのできる余裕の広さが必要です。それに加えて、机も、端末を見ながらノートをとれるように広くて（幅広）軽くて稼働しやすいものが便利です。今のクラスの人数が半分になると実現可能ですが、それまでは、せめて、学年に一つの空き教室等が近くにあると、学びのスタイルがなんとかアレンジできます。将来的には、家庭で購入した端末を持って登校し、学びに合わせて教室を移動する形になるかもしれないと思います。（北欧や米の小学校の視察で見었습니다）
- ⑩教室の数より、オープンスペースなど多目的に活用できるスペースがあるとよい。廊下を広く取る、あるいは廊下のところどころに広い部分を作るなど。
- ⑪主体的で対話的な深い学びを行うにあたっては、対話的な活動をする際に、子供同士が机を寄せ合ったり、グループにしたりすることも考えられる。しかし、動かすスペースがないので、小山中央小学校のような、広い教室外のスペースが必要である。
- ⑫少人数で話し合いができるスペースが教室内にあるとよい。
- ⑬大きさを変えられる可動式の教室の可能性を探る。
- ⑭それぞれの教室の広さが、もう少し余裕があればと思う。PCの充電保管庫の設置スペースや話し合い活動を進めるスペースがある広さの教室がほしい。
- ⑮フレキシビリティに移動・組み合わせ可能な学習機の導入、タブレットやノートパソコンを収納されている可動棚が動かしやすいスペースの確保。例えば学年別オープンスペース（壁面に書棚やプレゼン投影できる機能）のある教室構成設計。

問 4-6、7

普通教室のあり方を検討するにあたって、普通教室以外に様々な活動を行うオープンスペースや多目的室の設置の要否が検討課題となります。教育活動や児童・生徒の学校生活などの視点から、どのようなあり方が望ましいと思いますか。

【望ましいあり方：教室前にあるオープンスペース】

- ①多様な教育活動ができる。（担任時代に13年間経験した）。
- ②グループ活動の活動場所として良い。
- ③廊下側ではなく、窓側にオープンスペースを配置すると、学習活動が広がる。児童の荷物も収納できる。さらに「多目的スペース」もあるとよい。
- ④グループでの活動のための場所の保証のため。教室だけでは、作業や調べ学習ができないときのためのスペースの確保のため。
- ⑤児童の話し合い活動やグループ活動のため。
- ⑥多様な学習形態に対応が可能。

- ⑦オープンスペースがあることにより、学習形態を工夫できる。
- ⑧4-5で述べた学びのスタイルを実現するためには、学ぶ空間の広さが不可欠だからです。
- ⑨武蔵野市立大野田小学校や都立小金井特別支援学校の校舎を参考にしています。活動スペースがあるから新しい教育活動が実施されています。
- ⑩多目的に使用ができるため。
- ⑪問4-5の記入内容と関連。1単位時間の中でも、自ら課題を調べるだけでなく、グループで話し合い、新たに個で追加追求するという授業を展開するため。(今の教室構造では、机・教室移動に時間と意識が使われすぎてしまう)
- ⑫予約なしで、常時活用できるスペースとして確保できるから。
- ⑬短い移動時間で活用できるスペースが望ましい。
- ⑭教室横なので、すぐに学習の活動場所として活用できる。
- ⑮今回コロナ対策で、密にならない流し近くのオープンスペースが有効であったため。
- ⑯使用する機会が多い。
- ⑰学年が、一堂に集まる広さがほしいです。
- ⑱教室は狭く、児童の持ち物や副読本でいっぱいだから収納しきれない。
- ⑲現在ある学校に手を加え、スペースを確保する方法を考えたときに、一番費用を抑えることができ、教室の増設よりも工期も短くできる方法なのではないかと考えたからです。

問 4-8、9

オープンスペースを設置する場合、普通教室とオープンスペースを区切る間仕切りのあり方が検討課題となります。教育活動や児童・生徒の学校生活などの視点から、どのような間仕切りが望ましいと思いますか。※可動型（小山中央小学校、図師小学校）、オープン型（小山ヶ丘小学校）。

(1)【望ましいあり方：可動型（引き戸型）】

- ①可動型であれば、必要に応じてフレキシブルにスペースを設けられる。また、引き戸型のほうが、壁にした場合に防音、耐震性能が高そうな気がする。
- ②目に入らない工夫が必要な場合に活用できるから。
- ③児童の実態にもよるが、活動の質によって使い分ける必要があるため。
- ④活動によって、変えることができる。
- ⑤4-7に記述したようなオープンスペースが落ち着く。廊下を通る人に関係なく学習し、必要に応じて窓側のオープンに学習を広げる。
- ⑥状況に応じて対応できること。
- ⑦感染症対策の際に間隔を開けられるから。
- ⑧可動型にすることにより、目的に合わせた空間の使い方ができる。
- ⑨可動することにより児童数と学級数に対応できると考えたため。
- ⑩時には通常教室、時にはオープンスペースという臨機応変な教室がこれからの未来に必要。豊島区立池袋本町小学校の教室を参考。

- ⑪教育活動の多様性に対応できる。
- ⑫様々な応用がきき、使いやすいそうだから。
- ⑬目的に応じて広さを変えることができる。
- ⑭活動の内容によって、変えられる仕切りが望ましい。
- ⑮学習活動の幅が広がる。
- ⑯実際に使ってみたからです。仕切ることができればオープンスペースを教室の拡張部分としても使えるし、隣接するミニ教室としても使えます。
- ⑰授業形態によっては仕切ったほうが効果がある場合があるので。
- ⑱状況によって、仕切りがあると児童の指導がしやすい。
- ⑲活動内容によっては、閉ざしたほうが良いものもあるので。
- ⑳他教室の担任や児童の声が漏れ聞こえてきて、授業に集中できない児童が各学級に複数在籍していると考えます。防音のため、きちんと間仕切りができるような設備を希望します。
- ㉑集中させるため。
- ㉒落ち着いた環境で活動するために必要だと考える。
- ㉓隣のクラスで音楽の授業、私のクラスは社会科の場合、音楽の授業の音がうるさく、社会科の授業が成立しない状況になる。
- ㉔本校の音の問題は大きい。可動型の壁が欲しい。
- ㉕丈夫。
- ㉖吊天井型は修理がかなり大変だったため。
- ㉗教室と変わらない場所のほうが便利。
- ㉘吊り天井型を採用していた学校に勤務していたことがあるが、その学校の場合、故障することがよくあった。
- ㉙吊り天井式は壊れやすいと聞くので。
- ㉚簡単に様々なスペースを作れる方がよい。
- ㉛前の部分のみ閉めるなど、目的に合わせて簡単に操作して使うことができるから。
- ㉜出し入れが簡単に思えたから。
- ㉝必要なとき、児童でも教師でも手軽に使用できるから。

(2)【望ましいあり方：可動型（吊り天井型）】

- ①活動内容や気温に応じて、間仕切りを適宜使い分けたい。
- ②様々なレイアウトにできる。クールダウンする場所もつくれる。
- ③市役所 10 回の会議室に使われているようなものだと、広さを可変にできると同時に、閉めれば遮音性も保たれてとても良い。さらに軽いとよい。
- ④実際に使用してみて、有効性を感じた。
- ⑤いろいろな形の空間ができるので、吊り天井型がいいと思う。
- ⑥前任校で使い勝手が良かったため。
- ⑦開閉型が使い勝手がよい。
- ⑧多目的に活用できる。
- ⑨市役所 10 階の会議室のパーティションが使いやすいです。

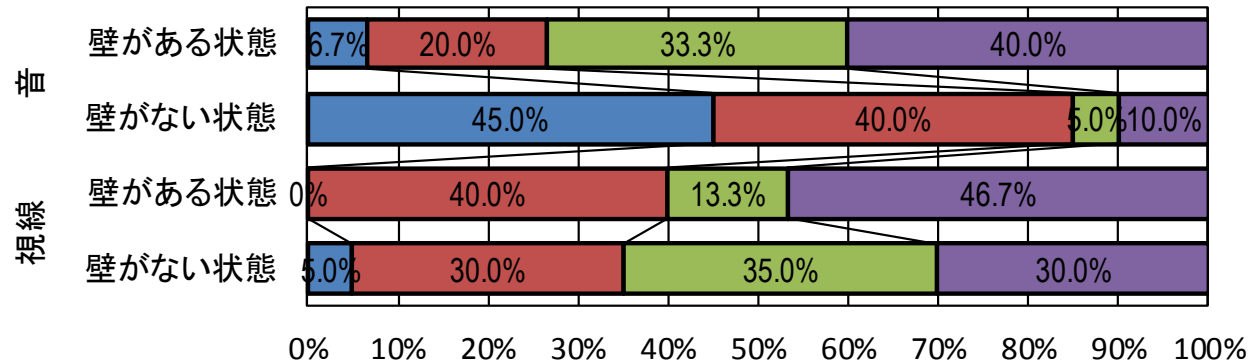
- ⑩引き戸型だとレール位置が固定化されてしまうので、向きが変えられないのではないかと。吊り天井型だと、位置や向きも変えられるので、多様に使える。
- ⑪教室を全部開放したいときがあります。
- ⑫以前、勤務していた学校で使いやすかったから。
- ⑬壁の移動が容易であり、収納にも優れているから。
- ⑭使用経験があり、設置が容易であること。
- ⑮児童生徒の事故やケガのリスク・可能性が少ないものにした方がよい。
- ⑯現在のなんなるルームのつくりと同じものがよいと考えた。

(3) 【望ましいあり方：オープン型】

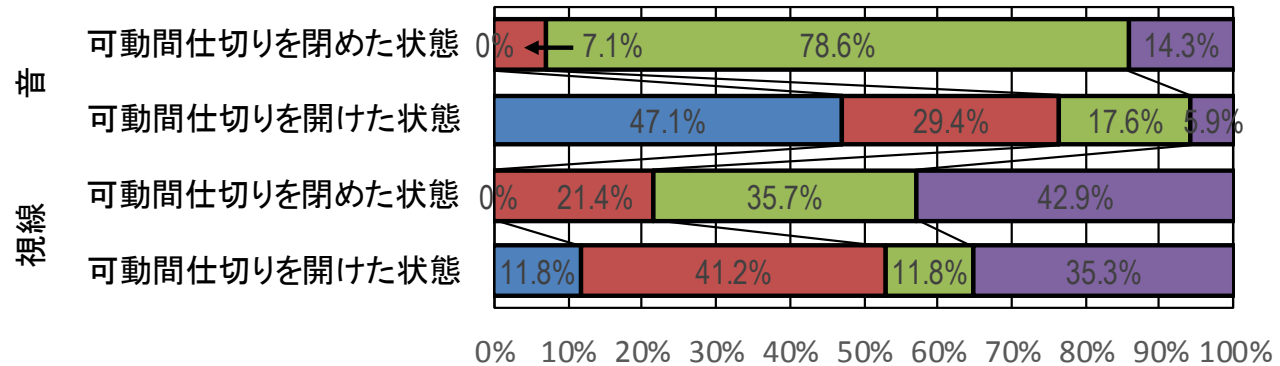
- ① 4-5で述べた学びのスタイルを実現するためには、学ぶ空間の広さが不可欠だからです。
- ②物理的にも心理的にもオープンになることで、教育活動は変化します。
- ③間仕切りのないことで、逆に他教室を意識して、騒がしさを生まない。
- ④大人が思っている以上に、間仕切りがなくても、子どもはその環境に慣れることが多い。

教室とOSの境界の状態に対する教員の評価

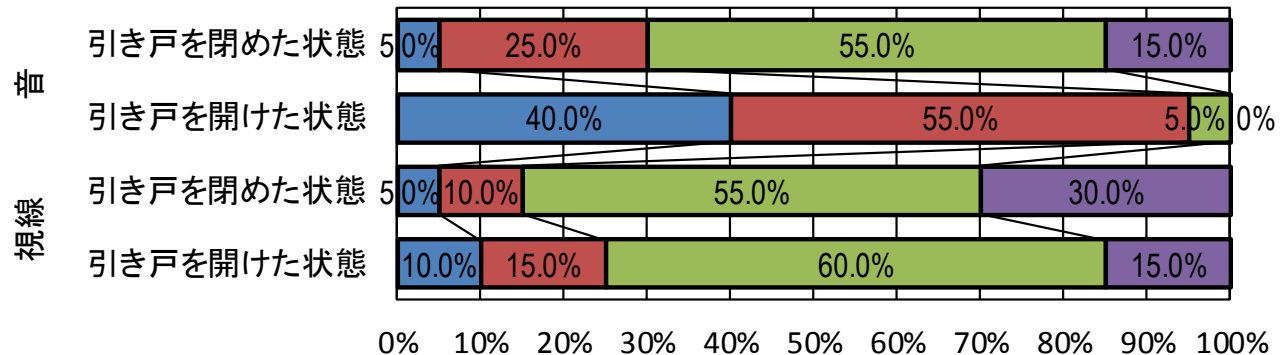
小山ヶ丘小



図師小

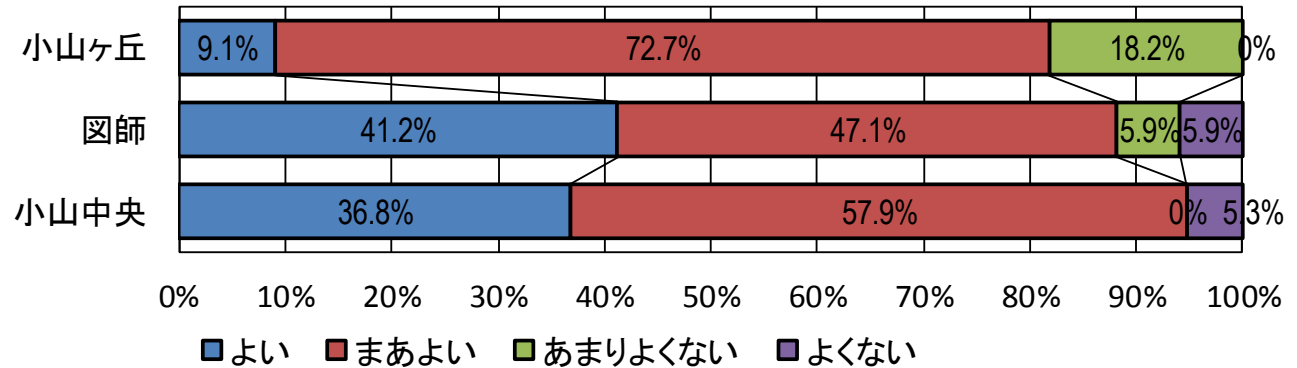


小山中央小

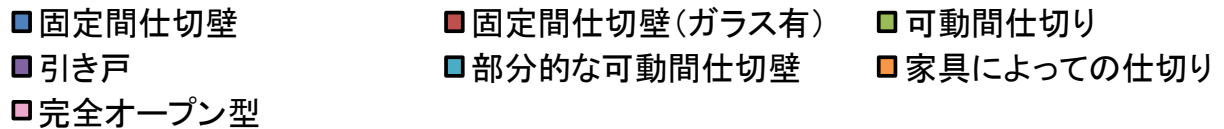
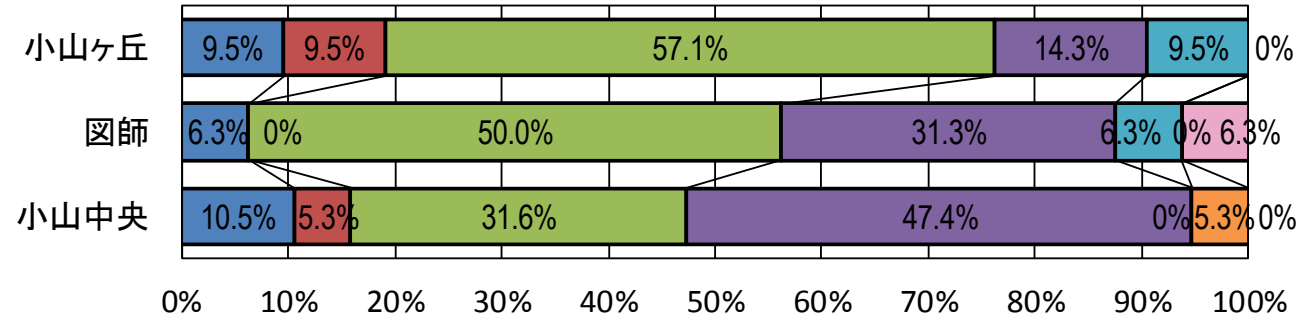


教室に隣接するOSに対する教員の評価

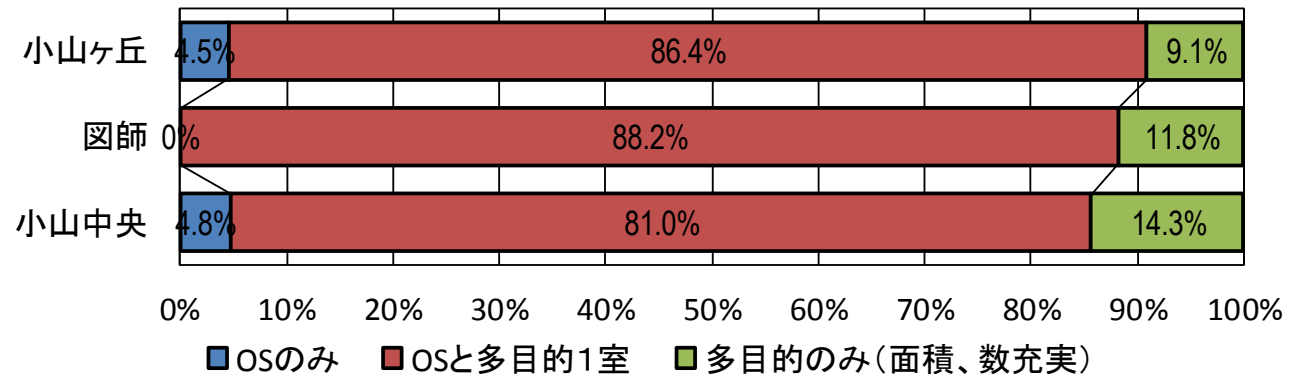
OSがあることの総合評価



新たに校舎を建設する場合、OSと教室の境界のつくり

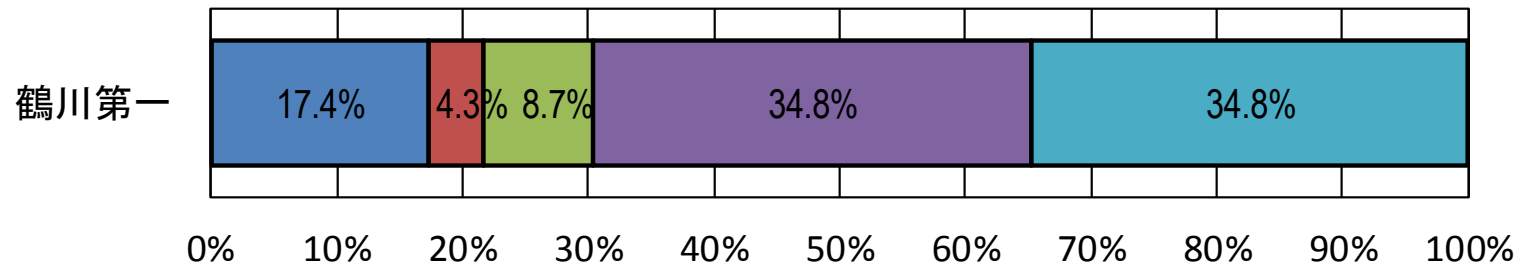


教室に隣接するOSと独立した多目的室の整備



教室に隣接するOSに対する教員の評価

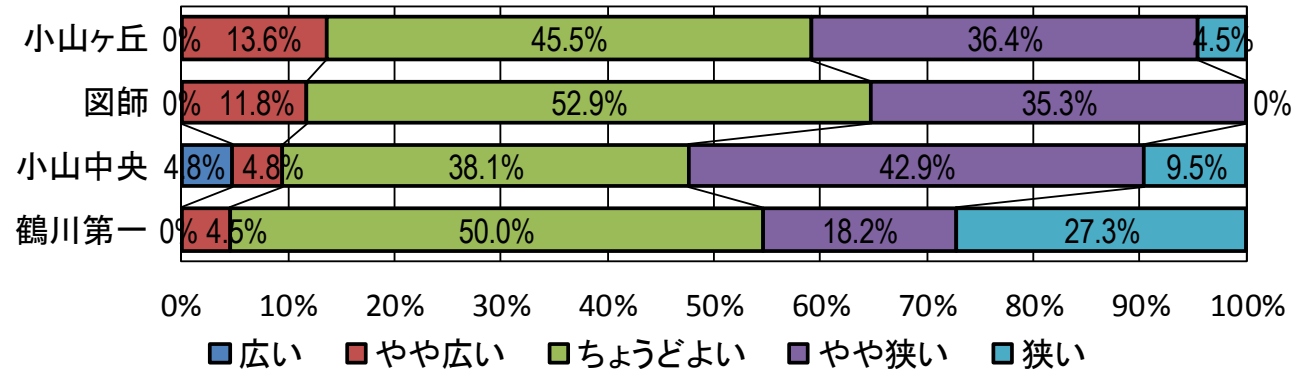
多目的室とOSを比較した要望



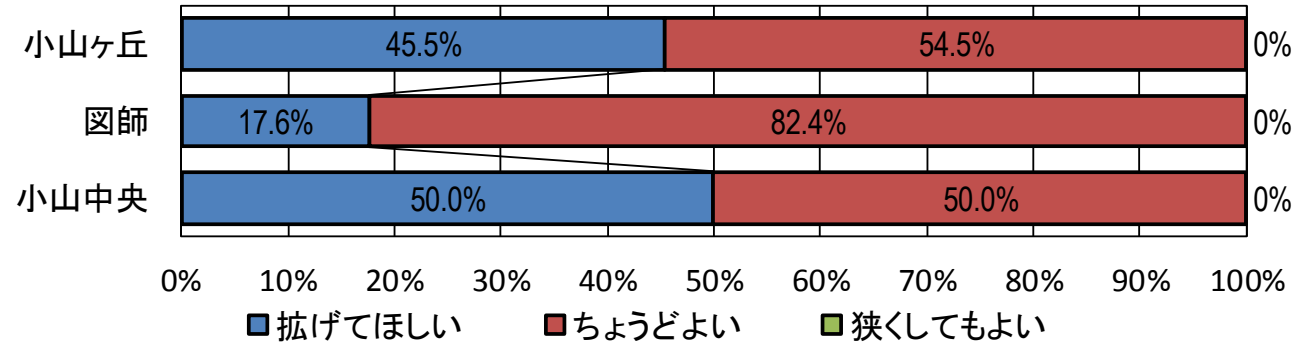
- 現在の多目的室に加えて、教室に隣接しているOSを設置してほしい
- 多目的室を1室に減らしても、教室に隣接しているOSを設置してほしい
- 多目的室はなくてもよいが、十分な広さの教室に隣接しているOSを設置してほしい
- 教室に隣接しているOSはなくてもよいが、多目的室の面積、数を増やしてほしい
- 現状(多目的室2室、OSなし)でよい

教室の広さに対する教員の評価

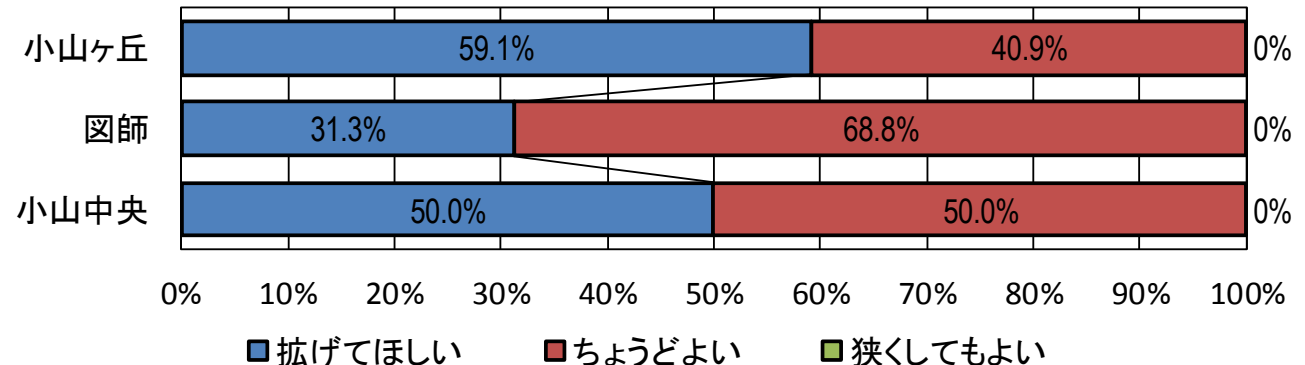
面積



幅
(窓から教室とOS
の境界まで)



奥行き
(前面黒板面から
後方壁面まで)



教室に隣接するOSに対する教員の評価

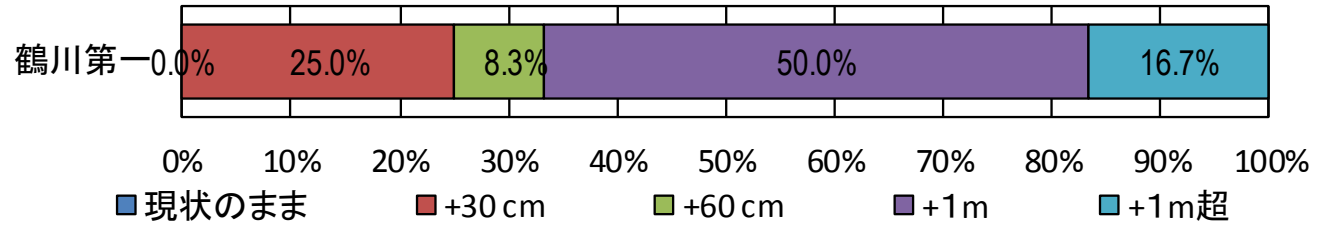
利点と問題点

利点	小山ヶ丘		図師		小山中央	
	(◎+○)	(◎)	(◎+○)	(◎)	(◎+○)	(◎)
多様な学習形態(グループ学習、個別学習、少人数授業など)の指導を展開できる	45.5	13.6	47.1	23.5	66.7	33.3
空間の広さを生かして、学年合同授業や学年集会などの活動ができる	86.4	40.9	76.5	41.2	47.6	9.5
教室のスペースを拡大でき、作業など多目的に活用できる	81.8	36.4	82.4	35.3	85.7	42.9
教室の環境が良い(明るい、開放的である、風通しがよいなど)	45.5	9.1	64.7	41.2	42.9	0.0
他のクラスの児童との交流が活発になる	27.3	0.0	23.5	0.0	19.0	0.0
休み時間の遊び場として利用できる	36.4	4.5	29.4	0.0	57.1	9.5
教室からオープンスペースへの移動が容易である	36.4	4.5	58.8	0.0	42.9	4.8
児童の様子を把握しやすい	50.0	0.0	17.6	5.9	19.0	0.0
他のクラスの授業が見え、参考にしたり助言したりできる	59.1	27.3	58.8	11.8	61.9	14.3
教師間のコミュニケーションやチームワークが高まる	50.0	18.2	52.9	0.0	47.6	4.8
その他	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

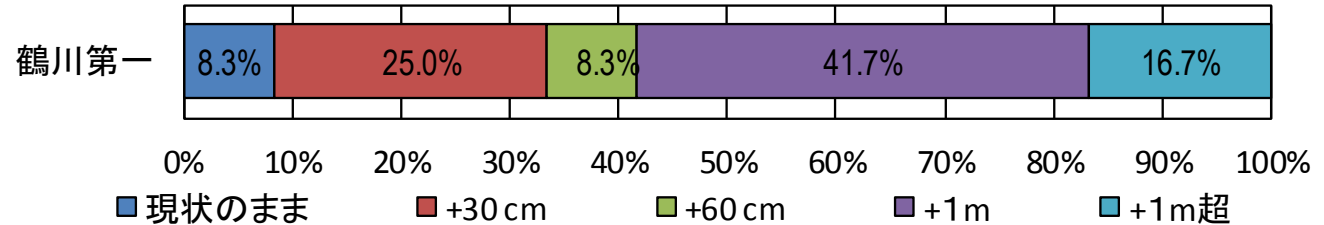
問題点	小山ヶ丘		図師		小山中央	
	(◎+○)	(◎)	(◎+○)	(◎)	(◎+○)	(◎)
他の教室やオープンスペースの音が授業などの妨げになる	86.4	45.5	70.6	41.2	81.0	19.0
他のクラスへの影響について気兼ねするため、やりたい活動ができない	54.5	18.2	23.5	0.0	19.0	4.8
児童がオープンスペースを移動する人を気にして落ち着かない、集中力が欠ける	45.5	4.5	70.6	35.3	42.9	9.5
児童にオープンスペースを利用するルールの指導が難しい	4.5	0.0	11.8	0.0	23.8	4.8
音や声が他のクラスなどに聞こえるので、注意喚起や生活指導などがやりにくい	27.3	9.1	52.9	5.9	38.1	14.3
掲示・展示するスペースが足りない	31.8	9.1	41.2	11.8	52.4	9.5
オープンスペースを活用した指導方法の工夫や準備などを行う十分な時間が教師にない	4.5	0.0	5.9	0.0	23.8	4.8
教室環境が悪い(冷暖房が不十分、冷暖房の効率が悪いなど)	59.1	4.5	35.3	5.9	33.3	0.0
特別支援を要する児童には向かない	45.5	4.5	64.7	35.3	47.6	14.3
防犯面、衛生面に問題がある	31.8	0.0	11.8	0.0	38.1	4.8
その他	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0

教室拡張の具体的要望(鶴川第一小)

横幅
(窓から教室とOS
の境界まで)



奥行き
(前面黒板面から
後方壁面まで)



横幅と奥行きの組み合わせ

		奥行き					計
		現状のまま	+30 cm	+60 cm	+1m	+1m超	
横幅	現状のまま						
	+30 cm		3				3
	+60 cm			1			1
	+1m	1			5		6
	+1m超					2	2
	計	1	3	1	5	2	12